

2022.9.22

2022 年度 日本歯磨工業会・歯磨公正取引協議会 合同委員会 開催

2022 年 9 月 22 日、オンライン会議にて、日本歯磨工業会・歯磨公正取引協議会の 2022 年度合同委員会が開催され、濱逸夫会長、吉岡貴司副会長をはじめ、役員、委員、賛助会員ら約 70 名が出席、日本歯磨工業会の業務、広報、技術、薬事、広告の各委員会及び歯磨公正取引協議会の運営委員会の各委員長から上期の活動内容を報告いただきました。

今年はコロナ禍ながら徐々に対面での活動も増やし、当工業会のコンセプトメッセージを活用した生活者向け口腔衛生啓発、国際標準規格策定への参画、歯科衛生士養成講座への講師派遣、東南アジア医療関係者向け口腔衛生啓発、口腔衛生用品の環境配慮設計指針づくり、薬事行政との連携と会員社への情報共有、広告表現適正化などの取組みを進めています。

また、特別講演として、大分県歯科衛生士会前会長の有松ひとみ先生を講師にお迎えし、「ICT を活用した大分モデルとは～歯科衛生士の関わりと役割」のテーマでご講演を頂きました。高齢者の介護予防における多職種連携やスマホなど情報通信技術を活用した「オンライン通いの場」の実施などにより、専門職による「お世話型」から、高齢者も支える側に参画して徐々に自立を促す「自立支援型」のケアに転換した介護予防の「大分モデル」を確立、その影響もあって、大分県の男性の健康寿命は全国 36 位から 1 位にまで高まったとのお話を伺い、高齢者を元気にするための口腔ケアや実践に向けた仕組みづくりの重要性を改めて強く認識することができました。